



CONTENTS

- * 後期授業
- * カモミール月曆
- * 学童トライアル
- * 英語セミナー
- * ソロプチミスト
- * カモミールこども大学
- * 地域体験実習
- * 保育園たより



後期授業ご案内

水曜1限

全学共通教育科目

～ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）～

平成28年度のテーマは、「大学生こそ『ライフデザイン』 — 考えよう、ワタシの恋愛・結婚・子育て」です。社会に出る前の大学生のときにこそ、自分の一生について落ち着いて考えてみましょう。この授業では、これからの恋愛、就職、結婚、さらに子育て（子作り）について必要な知識を学び、自分自身のライフデザインを設計するきっかけを提供します。

	開講日	タイトル	講師
第1回	10月5日	イントロダクション：現代日本社会における男女共同参画論の意義	相原 征代（男女共同参画推進室）
第2回	10月12日	岐阜大学における男女共同参画推進の取り組み	林 正子（副学長・男女共同参画推進室長）
第3回	10月19日	健康で充実した人生のための健康基礎知識	山本 真由美（大学保健管理センター）
第4回	10月26日	医療と健康—男女共同参画の意義	森田 浩之（医学部附属病院総合内科）
第5回	11月2日	「妊活」のすすめ — 子どもを持つことについて考えてみませんか	相原 征代（男女共同参画推進室）
第6回	11月9日	人間も動物？ 動物の『家族関係』について	椎名 貴彦（応用生物科学部共同獣医学科）
第7回	11月16日	女性のキャリアの現状—看護職の例から	高橋 由起子（医学部 看護学科）
第8回	11月30日	都市と住まい方を考える	久保 倫子（教育学部）
第9回	12月7日	13億人の中国における女性の役割と現状	魏 永芬（流域圏科学研究センター）
第10回	12月14日	デートDV — 相談の現場から	寺松 みどり（岐阜市女性センター）
第11回	12月21日	『リケダン』の『オトコもつらいよ』—「共働きと共子育ての楽しさについて」	新村 昌治（工学部電気電子・情報工学科）
第12回	1月11日	妄想用婚姻届で考える「ライフデザインセミナー」	落合 歩（株）リクルートマーケティング パートナーズ ブライダル総研
第13回	1月18日	子供を持ったことで見えてきたこと・気づいたこと	松尾 幸忠（地域科学部地域文化学科）
第14回	1月25日	男女共同参画社会で「働く」ための就職活動セミナー	未定（キャリアセンター）
第15回	2月1日	男女共同参画社会の実現に向けて（まとめ）	相原 征代（男女共同参画推進室）



副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

「女性も男性も共に働き共に育む社会」の実現に向けて

「働き方改革、税で後押し／育児と仕事両立促す」（「日本経済新聞」2016年8月27日（土））の記事等で紹介されているように、現代の日本が急速な人口減少、超少子・超高齢社会を迎えていることから、政府・地方自治体を挙げての大胆な人口減少対策の必要性が唱えられ、「働き方改革」が標榜されています。とくに総人口の半数を占める「女性の活躍」が「人的資源」として期待されていることも、皆さんご存知の通りです。

このような社会の動向と連動して、岐阜大学では、今夏も、男女共同参画推進室／人材開発部職員育成課のメンバーが中心となって、岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社と連携しての女性研究者育成・支援事業「清流の国 輝くギフト支援プロジェクト」（文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」）や、全構成員を対象とする男女共同参画推進の取り組みについて、着実な執行と果敢な挑戦をめざしているところです。

岐阜大学がさまざまなかたちで連携を促進している岐阜県健康福祉部子ども・女性局でも、職場のワーク・ライフ・バランスを応援する上司「イクボス」を増やすための養成講座や働く女性のためのキャリアデザイン講座を、各自治体や地元企業で開催するなど、精力的な活動が展開されています。

このように男女共同参画社会の実現をめざして諸機関が活動する〈暑い夏〉、去る8月27日（土）に、岐阜県が後援する「未来の私を創ろう ライフとワークのバランスセミナーカフェ」（主催：NPO法人つなぐプロジェクト（奥村佳子代表））に講演（話題提供）担当のかたちで参加しました。地域における男女共同参画推進の取り組みの一例として、些少なりともご参考にしていただければと願い、ここに概略をご紹介します次第です。

全国知事会（男女共同参画プロジェクトチーム）による提言（2014年7月）

<http://www.nga.gr.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/3/0717.pdf>

の紹介を軸とする今回の講演「『女性も男性も共に働き共に育む社会』の実現に向けて」では、日本経済・地域経済の維持・発展の観点から論じられることが多い「女性の活躍」や「ワーク・ライフ・バランス」の話題について、**私たち市民一人ひとりにとっての〈幸福な生活〉を実現するための課題**としてお話しすることを心掛けました。

政府が提唱する「女性の活躍推進」は、人口減少社会にあって、立ち後れている女性の労働参加率を高めることであり、経済成長を続けてゆくことに主眼が置かれた成長戦略ですが、労働力の充足にとどまらず、さまざまな分野で女性の視点と能力が活かされることが期待されています。一人ひとりの「女性の活躍」は、〈男性の活躍〉、〈多様な人材の活力〉と連環連動しており、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現」（男女共同参画社会基本法）こそが、何よりも求められている時代に私たちは生きていくと言えるのではないのでしょうか。

今回の「未来の私を創ろう ライフとワークのバランスセミナーカフェ」講演会「『女性も男性も共に働き共に育む社会』の実現に向けて」には、代々の家業を継ぐ自営業夫妻、「企業戦士」定年退職後の夫妻、「男性と伍して働いている」OL、医療看護専門学校講師の女性、第一子出産直後の主婦、ママ・ベビーサポート代表の女性、介護タクシーの男性運転手、介護施設の女性経営者、障がい者支援施設勤務の女性、岐阜県総合人材チャレンジセンター勤務の女性、岐阜県子ども・女性局女性の活躍推進課勤務の女性はじめ、多様な職業の老若男女が参加してくださり、ご自身の「ワーク・ライフ・バランス」のあり方、希求する「男女共同参画社会」のイメージ等について、それぞれの立場、それぞれの視点で熱い議論を展開してくださいました。

「女性も男性も共に働き共に育む社会」の実現に向けて、文字通り〈多様な生活環境〉にある方々とのディスカッションは、私たち一人ひとりにとっての〈幸福な生活〉とは何かについて、共に考える貴重な機会となりました。取り組みの担当者として、大学での「多様性人材活力推進」「男女共同参画推進」の実践活動、両立支援のための制度設計においても、性差のみならず、職掌・年齢・国籍など属性の異なる、多様な構成員一人ひとりの声をぜひ反映してゆきたいと願っています。

「女性も男性も共に働き共に育む大学」をめざして、男女共同参画推進室／人材開発部職員育成課による諸企画・諸実践に、どうぞぜひご参加ください！





学童トライアル

8月1日（月）から8月10日（水）まで、岐阜大学で初となる、本格的な「長期休暇中学童保育トライアル」を実施しました。午前中は語学レッスンで、男女共同参画推進室の相原征代先生からイタリア語を学び、教育学部の辻泰秀先生のご指導で美術に親しみました。午後はほぼ毎日、(株)ポピンズのスタッフの方々による楽しく学べるイベントがおこなわれ、参加した子どもたちはとても充実した表情を見せていました。もちろん夏休みの宿題の時間も確保し、「この時期に夏休みの宿題をしっかりとってくれるだけでも助かる」との保護者の声も寄せられました。予算の厳しい状況ではありますが、今後、子育て世代の教職員が、学校の長期休暇中でも安心して働けるように、このような試みを続けていきたいと願っています。



英語セミナー

8月29日（月）・31日（火）にわたり「2日間集中英語プレゼンテーションセミナー」を実施しました。受講者自身による実際のプレゼンを交えながらの充実したセミナーとなりました。男女共同参画推進室では、今後も同様のセミナーを実施して参ります。皆様のご参加をお待ちしています。



ピアカウンセリング同好会が シグマソサエティ会員に認定されました

ピアカウンセリング同好会は、中・高校生への**思春期保健教育**をおこなうことを目的として、岐阜大学(看護学科、工学部等)、岐阜県立看護大学、岐阜保健所のメンバーが協力して、ピアカウンセリング活動をおこなっています。シグマソサエティ会員に認定されたことで、ソロプチミスト日本財団から補助金をいただきました。

公益財団法人ソロプチミスト日本財団からピアカウンセリング同好会にシグマソサエティ会員証が贈られ、認証式がおこなわれました。

具体的な活動内容

- ・ 県内の高等学校、公共施設等に出向き、養護教諭、岐阜保健所保健師の協力を得ながら活動しています。
- ・ 性=生の自己決定能力獲得のために、さまざまなワークを通して中・高校生と同じ目線で、同世代を生きる**仲間**として**性**についてだけでなく**進路や人間関係等**についても考える時間を共有しています。
- ・ メンバーは、学習会や研修会に参加するなど自己研鑽をおこなっています。



カモミールこども大学



8月23日(火)・24日(水)に、本学と岐阜女子大学の教職員の子ども(小学生)を対象に「カモミールこども大学」を開催し、合計25名の小学生が参加しました。本学での例年の取り組みに加え、「学びの場としての学童」のありかたを探る実習として、岐阜女子大学の学生17名が参加しました。参加した子どもたちは、とても楽しそうな様子でした。

23日
@
岐阜
大学



24日
@
岐阜
女子
大学



岐阜大学
MEDCから
お知らせ

医学部地域体験実習 お母さん募集

ママさん(お子さま連れも歓迎)と医学科1年生が円座を組み、お茶を飲みながら気楽に、結婚・妊娠や育児・仕事の両立や大学生活のことを自由にお話する実習をおこなっています。過去に参加されたママさんからは、「医学生の話が新鮮で楽しかった!」「普段のもやもやを聞いてもらってスッキリした!」と好評をいただいています!

10月20日、11月1日、10日、17日の午前のご参加にご関心のある方は、kahoh@gifu-u.ac.jp か 058-230-6465 までぜひご連絡ください!

医学生とおしゃべりして いただけるママさん募集

今年入学した岐阜大学医学生を対象に、お母さんとのコミュニケーションを通じて、医師・看護師・仕事との両立の実際らしき学びを得る機会を提供いたします。お母さんと学童への参加は無料です。お母さんのお話の場も学童の大学生生活のことなど楽しくお話ししていただけます。お母さんとの交流は、これから医学の臨床実習などによって母子対話の場となる大切な機会になっていきます。

場所: 岐阜大学病院1階 季節的ホール
期間: 10月20日(水) 9:30-10:30
11月 3日(火) 9:30-10:30
11月10日(水) 9:30-10:30
11月17日(水) 9:30-10:30

この実習で、相席をお話しいただけるお母さん募集します。詳細の日程は右の通りです。お申し込みは必ずお電話です。参加費は無料です。お申し込みは必ずお電話ください。

お問い合わせ先
岐阜大学医学部地域体験実習
事務局 事務局
TEL: 058-230-6465

保育園たより

8月19日
夏祭り

みんなでダンス~輪投げ~ヨーヨー釣り~くじ引き~金魚すくい~マグネット魚釣り~最後はかき氷でひんやり♪ ゲーム満載の楽しいひとときでした。

